



こんにちは
渡辺みのるです

1985年東村山市生まれ、29歳。恩多町在住

日本共産党

恩多町・久米川町・野口町・多摩湖町・全生園
東村山子育て・若者応援室長

第5号(2015年2月号)

子育て世代と市長とのタウンミーティングに参加してきました

切実な要求がつつぎと

先日『子育て世代と市長とのタウンミーティング』に参加してきました。

参加者からは、「ボールを使って遊べる公園が無い」「子どものインフルエンザ予防接種の負担軽減をしてほしい」「都の認証保育所の助成が少ない」など、切実な要求がつつぎと出されました。また、「親どうしでお茶ができるカフェがあると良い」といった、まちづくりに役立つ要望も出されました。

市長は、「市が管理している公園は150余りあり、今はすべてでボールの使用は禁止となっているが、周辺の住民に理解をしてもらい、曜日や時間を限定してボールを使えるように考えたい」と、前向きな回答をする一方、子どもだけでなく高齢者からも要望の多いインフルエンザの予防接種の負担軽減に関しては、「財政が厳し

ボールで遊ぶことはおろか、砂利だらけで走ることも危険な市内の仲よし広場



い」「予算配分の中でのやりくり」など従来の回答を繰り返しました。

都の認証保育所の助成については、「来年度から新制度が始まるが、認証保育所に関しては新制度の対象外なので、今後の都の対応を注視したい」と回答しました。

また、保育園にお子さんを預けている参加者からは、「保育園の駐車場は数が限られており、迎えの時間帯は混雑して大変」との意見も寄せられました。

自己紹介④

政治家を志しはしましたが、どうすれば政治家になれるのか、当時はまったくわかりませんでした。

そこで思い付いたことが、『社会的地位のある職業に就く』ということで、私は医者になりたいと思うようになりました。

もちろん、簡単に医者になることなどできないことはわかっていましたが、医者という職業にたいするあこがれもありましたので、母に「医者になりたい」と言ったのは、高校1年生のときでした。

つつぐ

みんなで考え すべての世代が暮らしやすい東村山に

今回参加して感じたことは、市民のみなさんが、感じていることはどんなにちいさなことでも声に出し、みんなでもちづくりをするということが大切だということだと思います。

子どもからお年寄りまで、すべての世代の方が「住んで良かった」と思える東村山を一緒につくっていきましょう。

ツイッター

https://twitter.com/musashino_udon

フェイスブック

<http://www.facebook.com/watanabeminoru>